

吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務 審査評価項目

審査対象	審査項目	作成(実施)における 注意点	審査基準	評価配点					
				持分	A	B	C	D	E
提案書類	1 提案事項を実施するにあたっての取組方針	1 本市の人事行政への取組を理解したうえで、提案全体の考え方を示すこと。	(1) 調達仕様書の内容や本業務の方針を理解したうえで提案しているか。 (2) 本市が抱える課題を解決できる提案となっているか。	300	20	15	10	5	0
		2 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/3 主な課題・問題点」を踏まえたうえで、人材マネジメントシステムの必要性や方向性、業務改善効果を示すこと。	(1) 本市の置かれている状況をどれだけ理解しているか。 (2) 本市の業務改善に関する課題に対する解決となる提案ができてきているか。		10	7	5	2	0
		3 自治体行政の人事業務について理解したうえで、その業務に対する提案システムの適合性及び今後の対応方針を記載すること。	自治体の動向を把握し、自治体行政の方針に沿った提案ができてきているか。		10	7	5	2	0
	2 業務の実施における重要ポイント	1 開発工程から運用保守工程まで本プロジェクト全体のスケジュールについて、現時点で記述可能なレベルで具体的な作業項目単位でのスケジュール案を記述すること。 クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期について記述すること。	(1) 必要な各作業項目を含め、全体スケジュールが提示されているか。 (2) クリティカルパスやマイルストーンなど進捗管理の上で重要となるポイントや時期が記載されているか。		10	7	5	2	0
		2 システム開発(設計やテスト、移行等)で実施する作業において、職員の負担を軽減するための手法や施策、提案業者との役割分担を示すこと。	システム開発の各作業において、提案業者と職員の役割分担が明確になっており、職員の負担を軽減するために有効な手法が示されているか。		20	15	10	5	0
		3 システムの運用・保守で実施する作業において、職員の負担を軽減するための手法や施策、提案業者との役割分担を示すこと	システムの運用・保守の各作業において、提案業者と職員の役割分担が明確になっており、職員の負担を軽減するために有効な手法が示されているか		20	15	10	5	0
		4 システム開発のプロジェクトにおいて、スケジュール遵守や品質を担保するための有効なプロジェクト管理施策を、「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項/(8) プロジェクト管理」に示す要件を踏まえて提案すること。	(1) プロジェクトを円滑に進めるための工夫や有効なスケジュールの管理手法が示されているか。 (2) 工程完了判定会議の実施等、システムの品質を担保するための施策が示されているか。		10	7	5	2	0
		5 本業務の納品物を、「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項/(6) 本委託業務に係る納品物の例」に示す要件を踏まえて提案すること。	(1) 調達仕様書に示す成果物を納める提案になっているか。 (2) 調達仕様書に示す成果物との差異がある場合でも、同等の成果物を納めることが示されているか。 (3) 成果物が、スケジュールや調達要件の提案と整合しているか。		10	7	5	2	0
	3 体制及び実績	1 本業務の実施体制として、人員配置、業務管理体制(品質管理、進捗管理、問題把握等)等を示すこと。	(1) 本プロジェクト実行に必要な要員配置、管理体制となっているか。 (2) 本業務を進めるうえで十分な人数の体制となっているか。 ※様式3「業務従事者調書」と合わせて評価する。		20	15	10	5	0
		2 プロジェクト人員の業務実績を示すこと。プロジェクト人員については、具体的な担当者名を示すこと。	(1) プロジェクト管理者は、他自治体における十分な実績を有しているか。 (2) プロジェクト人員は、人材マネジメントシステムの構築経験を有するか。 ※様式3「業務従事者調書」及び様式4「類似業務実績調書」と合わせて評価する。		20	15	10	5	0
		3 他自治体における人材マネジメントシステムの構築の実績を示すこと(提案者が導入した実績のみとする。)	他自治体における人材マネジメントシステムの構築実績数に応じて採点する。 様式4「類似業務実績調書」記載の実績数(最大5件まで)×4点		20~4				
	4 調達要件	1 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/イシステム(非機能要件)/(ア) 可用性」の実現方法を示すこと。	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		25	18	12	6	0
		2 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/イシステム(非機能要件)/(イ) 性能・拡張性」の実現方法を示すこと。	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		20	15	10	5	0
		3 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/イシステム(非機能要件)/(ウ) 運用保守性(システム)」の実現方法を示すこと。	(1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。		15	11	7	3	0

吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務 審査評価項目

審査対象	審査項目	作成(実施)における 注意点	審査基準	評価配点				
				持分	A	B	C	D
		4 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/イシステム(非機能要件)/オ) 移行性」の実現方法を示すこと。	1 (1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。	20	15	10	5	0
		5 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/イシステム(非機能要件)/カ) セキュリティ」の実現方法を示すこと。	1 (1) 要件に対する実現方法が提案されているか。 (2) 調達仕様書で求めている要件以上の提案が示されているか。	25	18	12	6	0
	5 追加提案等	1 調達仕様書の記載内容以上に、追加で提案する機能や要件、業務があれば提案すること。	1 (1) 追加提案は、本市にとって有益な内容となっているか。 (2) 追加提案は、追加費用等の条件なく実施されるか。 追加提案ごとに有効性(0点~5点)を評価した合計点(最高点は25点まで)	25~0				
システム機能要件の適合性		1 「吹田市人材マネジメントシステム構築・運用保守業務調達仕様書/5 基本事項 (5) 要件/アシステム(機能要件)」に記載された機能について、提案するパッケージとの適合性を示すこと。	1 システム機能が本市業務に適合しているかどうかを、必須要件希望要件一覧の回答に応じて採点する。なお、代替運用による提案は、具体的な対応方針を記載することとし、選定委員会においてその対応方針が本市の要件を満たさないと判断した場合は、「実現不可能」として評価する。 重要度について次の基礎点を配する。 (1) 必須 3点 (2) 希望 1点 全要件の合計点に評価配点250点を乗じ、満点で除したものを評価点とする。(小数点以下は切り捨てる。)	250	—			
見積金額		1 提案内容との整合性をもって価格を算出してください。また、仕様書の内容及び別紙「必須要件」は全て満たし、「希望要件」については「可能」又は「不可能」でも代替案を提案されている場合は、その内容も満たすことを前提とします。もし、仕様書の内容及び別紙「必須要件」が見積対象外となっている場合、この項目の評価は0点とします。	1 仕様書及び必須要件記載内容が見積書内で対象外となっていないかを確認の上、本市の定義した方法(右欄記載の計算)によって評価する。 プレゼンテーションの終了後に、委員への提示を行う。 $150 \times (1 - \text{見積価格(税抜)} \div \text{予定価格(税抜)})$ (小数点第2位以下は切り捨て) ※小数点以下は切り捨て ※要件対象外の場合は0点とする。	150	—			
プレゼンテーション・質疑応答		1 人材マネジメントシステムパッケージのプレゼンテーションを実施すること。	1 提案時点のパッケージソフトの有無と要件の実現性	25	18	12	6	0
			2 画面の見やすさ	25	18	12	6	0
			3 使いやすさ(操作性、画面遷移等)	25	18	12	6	0
			4 人事異動シミュレーションの操作のしやすさ	50	37	25	12	0
			5 人事評価のしやすさ	50	37	25	12	0
			6 サポート機能(ガイド、入力補完、ミス防止等)	25	18	12	6	0
			7 システムの印象	20	15	10	5	0
		2 提案書のプレゼンテーション及び人材マネジメントシステムパッケージのプレゼンテーションに対する本市からの質問に回答すること。	1 熱意・積極性・意欲・品格・礼節	10	7	5	2	0
			2 回答の的確さ(質問との整合性、提案書との整合性)	20	15	10	5	0
			3 回答説明の分かりやすさ・聞きやすさ	10	7	5	2	0
			4 提案内容の実現性	20	15	10	5	0
			5 全体の印象	20	15	10	5	0
合計				1000				

【評価配点凡例】

- A: 有効な提案者独自の追加提案がある等非常に優れた提案である。(評価配点×100%)
 - B: 優れた提案である。(評価配点×75%)
 - C: 本市が求める水準を一定満たした提案である。(評価配点×50%)
 - D: 低い水準の提案である。(評価配点×25%)
 - E: 非常に低い水準の提案である(提案がない場合を含む。)(評価配点×0%)
- ※点数については、小数点以下切り捨て